

第81号

平成17年1月12日発行

群馬県山岳連盟

〒371-0005 前橋市堀之下町494-2

女屋 等志方

TEL 027-269-4570

TEL 027-269-4583

編集発行人

群馬岳連編集部 岡安茂能

印刷所 朝日印刷工業(株)

# 山岳ぐんま

## 第十五回山田昇記念杯登山競争大会

山田杯

松本

大選手

三枝賞

恩田

悠選手

ともに初優勝

群馬岳連総務部長 女屋 等志



スタート直後の激走



松本 大選手のゴール

第十五回山田昇記念杯登山競争大会は、平成十六年九月二十六日(日)、雨と霧の悪いコンディションの中で、山田昇記念杯の部百四人、三枝照雄賞の部四十八人、一般参加の部四十四人の合計百九十六人が参加した。

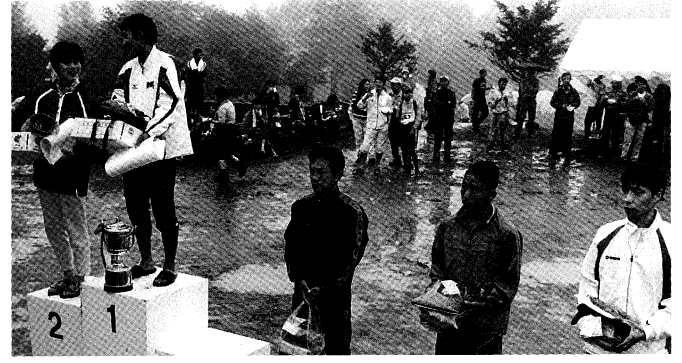
山田杯の部は、七連覇中の鍋木毅選手(群馬県庁)が、十月三日(日)にマレーシア、キナバル山で開催されたキナバル国際クライマソン出場のため不参加だったが、これまで連続二位に甘んじていた松本大選手(群馬大学、二十歳)が二時間三十三分三十一秒の歴代五位のタイムで初優勝した。また、三枝賞の部(満十九歳未満)では、新潟県立十日町高校の女子選手、恩田悠(はるか)さん(十五歳)が二時間五十八分二十八秒のタイムで制した。松本選手は、三度目の挑戦で優

勝したものの、「鍋木さんがいたらどうだったかな。内容はかなり良かった。できれば直接対決で破って優勝したかった」と本音を語った。

コースコンディションは、前日夕方から雨が降り続いたため登山道が滑りやすく、松本選手も手をついたり足をひねったりで、十回くらい転んだという。そんな状況の中でも、松本選手はスタートからトップを走り、中盤過ぎの八キロ地点から二位の横山忠男選手(前橋市)を引き離して独走し、昨年の鍋木選手の優勝タイムの一分遅れにとどめた。

なお、埼玉県で開催された第五十九回国民体育大会山岳競技では、十月二十四日(日)の成年男子縦走種目で鍋木・松本ペアが優勝しました。

今回は、第十六回以後の大会開催の参考にするため、参加者からアンケート調査を行いました。アンケートの内容は、参加の目的・コースの距離・負荷重量・個人戦か団体戦かといった競技スタイル・区分として男女別と年齢別・開催時期・他の山岳競技と比較して過酷か普通か物足りないかといったものです。現在は集計中でありますが、分析結果を含めて公表し、多くの岳連関係者から大会運営の方法についてご意見をいただく予定でおります。



## 第15回 山田昇記念杯登山競争大会記録

### 山田昇杯の部

|    |       |               |            |
|----|-------|---------------|------------|
| 1  | 松本 大  | 群馬大学          | 2° 03' 31" |
| 2  | 横山 忠男 | 前橋市           | 2° 07' 14" |
| 3  | 望月 将悟 | 藤川山岳会         | 2° 09' 39" |
| 4  | 佐藤 昭則 | 十日町地域消防署      | 2° 19' 15" |
| 5  | 小河内吉哉 | 大宮自衛隊         | 2° 20' 44" |
| 6  | 林 幸男  | 太工山岳部OB       | 2° 23' 44" |
| 7  | 栗林 正俊 | 筑波大学          | 2° 33' 56" |
| 8  | 斎藤 光広 | 越生七福神TC       | 2° 39' 53" |
| 9  | 松本 浩  | 高崎市           | 2° 47' 44" |
| 10 | 石井 純二 | 北富士自衛隊        | 2° 49' 22" |
| 11 | 児玉 雅之 | 太田山岳会         | 2° 53' 40" |
| 12 | 吉田 尚紀 | 境町山の会         | 2° 54' 15" |
| 13 | 川崎 政春 | 越生七福神TC       | 2° 54' 46" |
| 14 | 小山 勝稔 | 翌檜山岳会         | 2° 58' 20" |
| 15 | 正岡 知子 | extrem chaine | 3° 01' 01" |
| 16 | 大谷 俊行 | 大泉町役場         | 3° 01' 12" |
| 17 | 吉田健太郎 | 前橋市           | 3° 03' 38" |
| 18 | 松本 大  | 公立藤岡総合病院      | 3° 04' 55" |
| 19 | 水野 正則 | 十日町山路野会       | 3° 07' 09" |
| 20 | 船橋 緑  | さいたま市         | 3° 07' 24" |
| 21 | 柳 勝   | 太田市役所         | 3° 09' 59" |
| 22 | 廣岡創太郎 | 日本大学          | 3° 10' 37" |
| 23 | 松本 今夫 | 吾妻郡嬭恋村        | 3° 11' 48" |
| 24 | 金澤 浩史 | 太田山岳会         | 3° 12' 07" |
| 25 | 村田 喜昭 | 太田山岳会         | 3° 14' 10" |
| 26 | 石井 達幸 | 伊勢崎市          | 3° 19' 13" |
| 27 | 南雲 周作 | 十日町新座MC       | 3° 19' 27" |
| 28 | 須藤 貞夫 | 藤岡市           | 3° 22' 28" |
| 29 | 黒沢 琢磨 | クラブ マカロニ      | 3° 22' 50" |
| 30 | 法領田 恵 | 高崎市立中居小学校     | 3° 22' 51" |

### 三枝照雄賞の部

|    |       |           |            |
|----|-------|-----------|------------|
| 1  | 恩田 悠  | 新潟県立十日町高校 | 2° 58' 28" |
| 2  | 沼賀 秀泰 | 県立榛名高校    | 3° 26' 01" |
| 3  | 春日 萌子 | 新潟県立十日町高校 | 3° 26' 13" |
| 4  | 永山 清治 | 新島学園高校    | 3° 32' 39" |
| 5  | 水落 香菜 | 新潟県立十日町高校 | 3° 40' 33" |
| 6  | 水落あすか | 新潟県立十日町高校 | 3° 40' 33" |
| 7  | 甲原 琢磨 | 新島学園高校    | 3° 44' 29" |
| 8  | 岡村 明典 | 新島学園高校    | 3° 50' 30" |
| 9  | 平澤 雅輝 | 県立利根実業高校  | 3° 57' 32" |
| 10 | 大崎 寛心 | 県立榛名高校    | 4° 17' 59" |
| 11 | 石田龍之介 | 県立中央高校    | 4° 27' 39" |
| 12 | 板野 芳徳 | 県立桐生工業高校  | 4° 30' 37" |
| 13 | 柳澤 諒多 | 県立中央高校    | 4° 32' 42" |
| 14 | 田口 修一 | 県立沼田高校    | 4° 32' 56" |
| 15 | 長谷川慎吾 | 県立沼田高校    | 4° 32' 56" |
| 16 | 高橋 慧多 | 県立中央高校    | 4° 34' 48" |
| 17 | 星野 大樹 | 県立桐生工業高校  | 4° 35' 20" |
| 18 | 新井 裕人 | 県立高崎工業高校  | 4° 35' 21" |
| 19 | 滝沢沙矢佳 | 新潟県立十日町高校 | 4° 41' 33" |
| 20 | 森村 貴志 | 県立中央高校    | 4° 41' 36" |
| 21 | 佐藤 央佳 | 県立中央高校    | 4° 53' 25" |
| 22 | 峯岸 幸弘 | 県立富岡高校    | 4° 57' 08" |
| 23 | 土井 淳禎 | 県立富岡高校    | 4° 57' 09" |

(表中の ° ' " は、時間・分・秒を表す)

# 第59回 彩の国まぐろ国体 報告

群馬岳連国体部 松田 龍彦

二〇〇四年四月、七月に県予選会を実施し、4種類の強化選手を指定し、それぞれブロック大会、本大会に向けて自主トレ、強化合宿がスタートした。今年の関東ブロック大会は、二〇〇四年八月二十八・二十九日の二日間、神奈川県秦野市山岳スポーツセンターでクライミング競技、秦野戸川公園・牛首周回コースで

縦走競技が行われた。一日目クライミング競技成績は、成年女子6位（斎藤さくら代、北原三知江）、少年男子1位（堀込悟、平澤雅輝）、少年女子2位（片野直子、千木良かおり）。少年少女は順当に競技を終了した。

翌日は台風接近で風雨の中、縦走競技がスタート。成績は成年女子3位（斎藤さくら代、法領田恵）、少年男子5位（平澤雅輝、浦野史徒）、少年女子1位（片野



直子、西山亜里沙）となり、ブロック通過は少年女子のみとなつて、本国体出場は成年男子と、少年女子の2種別出場。

本国体は十月二十三日～二十六日、埼玉県加須市、秩父市、小鹿野で開催。二十三日、総合開会式出席後、計画輸送で移動中に、新潟中越地区で地震が発生し、新潟

県成年男子縦走競走出場選手は、翌日の競技をせずに、即日、被災した十日町へ帰られた。心からお見舞い申し上げます。二十四日、晴天に恵まれた中、競技開始。秩父武甲山縦走競技コースで、鍋木 毅、松本 大二名がスタート。昨年静岡国体縦走種目3位の力量と、現地コースでの強化が効果としてでた結果、松本は個人3位（1:00:35.06）（1位と差01:21:03）。又、鍋木は強化の一環として、富士登山競争、富士登山駅伝、そしてボルネオ、キナバル山登山競争大会に参加し、高所での強化トレーニングを実施し今大会に望んだが、順調な仕上がりの中、キナバルで下り時、右足首を捻挫してしまった。その十月三日のアクシデントが群馬TVで報道され、県岳連・県体協から、出場は出来るのかと、心配の連絡が入る。大会まで残り日数は二十一日、回復が危ぶまれている出場。しかし、さすがベテラン。よく調整し、期待に答え、個人13位（1:03:38.03）でゴールに飛込む姿が、オーロラビジョンに映し出された。

チーム競技のため二名の合計タイム（2:04:13:09）で、昨年上位チーム福島、神奈川を撃破し、種目1位、種目得点24点を獲得し、県への貢献度は、昨年同様大きく貢献した。

少年女子クライミング予選が二十四日スタート。片野、千木良がエントリー。グレードとルート構成が、群馬チームの技量にマッチングしたため、選手がベストパフォーマンスを発揮出来た結果、北海道に続き2位で予選

を通過し、二十六日決勝に進出（予選グレードは、選手のレベルに比べ甘かった。完登者が九名と、全体の1/3構成比）。決勝はセッターがグレードを上げると、競技結果から予測された。7番スタート。やはり予測通り、グレードを上げたため、実力No.1茨城県小林真秀一名が両ルート唯一の完登者。群馬片野31、千木良17N。群馬



チームで5位入賞し、種目得点12点を獲得。成年と合わせ、36点を山岳競技で取得出来た。

## 今後の強化について

山岳競技は日体協の国体改革で、大分国体から縦走競技を廃止し、代替として、ボルダリング競技と従来のクライミング競技二種目に、又、選手も三名から二名にし、簡

素化をはかる。国体開催日も、山岳競技は十月から九月へ二〇〇六年兵庫国体から実施と、環境が大幅に変革していく。

#### 成年男子

縦走競技…岡山、兵庫、秋田の三年間は、現状レベルを維持して縦走競技に選手強化を特化し、8位以内入賞を最低ラインとして強化、チーム作りを目指す。経費としては、現地在岡山、兵庫、秋田と遠隔地のため、現地コースでの強化を十分出来る費用の捻出をどうするか。

クライミング競技…現状のレベルで8位入賞はかなり厳しい状況のため、四年後を目標に、選手発掘と現状選手レベルアップ、特にボルダリングも視野にいれて対応策を考える。又、クライミング部との連携や、商業施設ジムへ来る人の中から人選する。

#### 成年女子

縦走・クライミング共に人材不足。早急に参加選手の発掘が急務。他競技団体から参加してもらうアプローチが、他県のように必要。縦走は陸上、スキークロスカントリ、クライミングは体操、新体操の競技団体に、山岳連盟として声をかける。

#### 少年男女

高体連登山部に強化に熱心な先生がいるので、いかに強い選手を発掘するかポイント。選手がい

れば、強化コーチはしっかりしたサポート体制が出来ている他県のように、特定強化指定校を決めての強化も、一方法と考える。

#### 強化上の問題点

##### 少年種別

他競技と異なり、校内にトレーニング施設がなく、現地強化や、県内山岳地区で強化場所への交通機関について、群馬県高体連は自家用車使用が禁止され、公的機関のバス、電車に限定されるため、効率的に強化ができない。現地での移動に問題を来している。他県チームは、引率コーチ監督の自家用車で効率よい強化をしている。ブロック大会現地強化では、貸し切りバスをチャーターするため、経費が掛りすぎ困っている。

##### 全種別

四年後、クライミング競技、ボルダリング競技二種目になった場合、現在、公共の施設が無い状況である。全競技団体に、競技施設を持たない競技団体は、山岳競技唯一と思う。やはり、遠隔地に施設を設置するのでなく、競技人口の多い都市部に設置し、小・中・高の生徒が低価格で利用出来る事、社会人は、使用時間帯が遅くまで利用可能な施設ができる事により、今後の山岳競技の発展につながると思えている。

## 第二十七回県民登山大会開かれる

高崎山岳会 田中 宏雅

去る十一月七日(日)、赤久縄

山・御荷鉾山において第二十七回県民登山大会が開催されました。

今年は高崎山岳会が幹事。わが山岳会では、県民登山大会に相応しい山を考え、ミーティングを何度も重ね、甘楽町の山に下見を数回行き、最終結果が神流町の山になりました。

上級者向けAコースは神流町主峰赤久縄山に、Bコースは低い御荷鉾山になりました。昨年の大会コースは歩きが少ないとの声がありましたので、これを十分参考にしました。

当日は、一般参加者七十二名、役員二十四名、合計九十六名の登山愛好者が集いました。快晴に恵まれ、紅葉燃ゆる中、県民登山大会が開会されました。開会式後、参加者をそれぞれAコース・Bコースに分けてレンタカーに乗せ、登山口まで輸送しました。

Aコースは、早滝から送電線鉄塔経由で山頂へ向かいました。山頂は混生林で眺望はよくありませんが、一等三角点がありこれを確認。今日は空が霞にさえぎられて富士山は望めませんでした。南側の尾根を下れば早滝登山口に出られ、このコースは一周することが

できました。

Bコースも大会の名に恥じないよう設定しました。レンタカーで町営みかば高原荘に集合し、ここで準備体操と点呼をとってから、一班・二班に分かれて西御荷鉾山に向かいました。てっぺんからの眺望は抜群。山頂の喜びを存分に満喫してから東御荷鉾山を経由して滝不動に下り、ここで休憩。更に国道沿いの駐車場へと下り集合。レンタカー二台を使つて開閉会場まで輸送しました。

大会参加者全員が事故一つなく

無事下山しますと、高崎山岳会関係者による超大型鍋が待ち受けており、旨いけんちゃん汁が振る舞われ、にこやかな笑顔を交わしながら解散することができました。

本大会は、主管山岳会や岳連役員のボランティア精神により、二十七回も続く伝統ある行事となってきました。特に主管となる山岳会は準備や運営が大変ですが、山を愛する人々が集う場として、また、登山者の底辺の拡大を広げる機会としてとらえ、今後も未永く続けて行ければと思う次第です。最後に、本大会にご協力くださいました神流町の皆様はじめ関係者の方々に、深く感謝しお礼申し上げます。

## 県民登山大会に参加して

藤岡市 渡辺 利江

今年の県民登山会場の設定は高

崎山岳会の担当となり、いくつか候補にあがった中から、西上州を代表する御荷鉾山と赤久縄山に決まったそうです。

多野郡神流町のコイコイアイランドを会場として、岳連、体協、高体連、神流町各方面の方々のご協力をいただき、山歩きを楽しむ人達が朝早くから集い、晴天に恵まれた中で開会しました。総勢一

〇〇人位です。

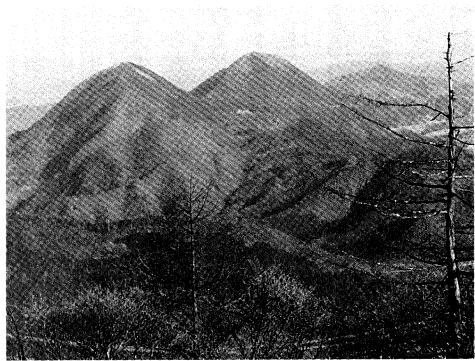
コースは二コースで、Aコースは赤久縄山六時間、Bコースは御荷鉾山五時間三〇分です。

高崎山岳会と神流町役場で用意してくれたバスに分乗し、夫々の登山コースに向かいました。

私はBコースに参加しましたが、整備されたコースを歩いてみたので、赤久縄山も少し紹介してみたい。

Aコースの赤久縄山は、昔は使われていたけれど今は荒れてしまった登山道を、この大会に使えようと高崎山岳会の人達が整備したので、早滝を見て山頂へ、山頂から安取峠方面へ下山してから、また登山口に戻る一周コースができたので、山を歩く楽しさが増えました。

栗木平の登山口から三〇分程歩くと早滝の分岐。少し寄り道をして大自然を楽しむことにして滝へ向かう。落差四〇mの水量豊富な滝つぼの近くに立つてマイナスイオンを体感し、心身共にリフレッシュ。この滝は標高が高い(約九三〇m)ので、夏は涼しく、冬はアイスクライミングもできる程流れる水が凍って、大自然が創り出すダイナミックな芸術品に圧倒されます。素晴らしいですよ。冬季に滝が凍る頃も訪れたい所です。分岐に戻って、山頂までのしつか



りした登山道を、ダケカンバやカラマツ、紅葉を見ながら二時間三〇分も歩いて気持ちの良い汗をかけた頃、山頂に着きました。森林浴をしながら解放感あふれる中で食べる昼食はまた格別のおいしさ。今までの疲れも吹き飛んでしまいます。視野も開けているので時には富士山も見えることがあります。

安取峠・早滝方面と書かれた新しい道標を確認して下ると、枝が切り払われ、目印のテープが細かな間隔でつけてあるので、踏み跡とテープを頼りに歩く。足元の落ち葉に注意し、秋の色の変化も楽しみながら二時間も下ると安取峠の分岐に出ました。栗木平の登山口はすぐ近くです。

Bコースの御荷鉾山は、西御荷鉾山と東御荷鉾山と入沢の滝を含むむざいたくコース。滝入口への登山道も山岳会の人達がこの日のために整備したので、林道歩きが三〇



分位短縮できるようになりました。バスでみかほ高原荘まで行き、そこから軽く足を慣らしながらゆつくり登り、一時間位で西御荷鉾登山口のスーパール林道に出ました。山のベテランが先導し、後尾には救護や通信をしてくれる山岳連盟の方がついて、参加者の歩きに配慮してくれるので安心して登れます。時には木や花、山の説明も入り、余裕を持って歩けるのが嬉しい。四〇分で西の山頂へ。山を歩いていると楽しいことばかりではなく、急登が続くと苦しく思うこともあるけれど、稜線で心地良い風に吹かれた時、雄大な景色を眺めた時、山つて何と素晴らしいんだろうと感激し、山に登る魅力ってこのことかな?と体で納得してしまう。山頂の抜群の展望の良さは季節を問わず何度でも登ってみたいなる山です。秋晴れの中で上州の峰々を眺めながら軽食をとる。信仰の山として不動明王の石像もあり、初夏の頃にはキスゲの花がきれいです。

西の山を下しながら、ふと目をあげると形の良い東御荷鉾が目の前に大きく見える。次はあの山に登ります。一度投石峠に出てから東御荷鉾の登山道に入る。標高は東の方が少し低いですが、歩行時間は約一時間かかります。登り始めて振り返ると、今登ってきた西御荷鉾山が秋の色に染まって輝いて



入沢の滝は裏側にまわって眺められるように遊歩道があり、その奥には滝不動尊がまつられています。滝の音と小鳥のさえずりだけでとても静かです。木漏れ日も

見えます。山頂は風もなく暖かいので、昼食後はのんびりと遠くの山々を眺めながら仲間との会話も弾みます。

下山の時には、救護の人が膝を痛めた参加者にテーピングをしたり、コースの途中、疲労で帰路に着く人のために岳連の役員の方達がスーパール林道の石神峠まで車を用意してくれたり、ちょっとしたハプニングもありましたが、無事に下山しました。

愛宕山林道を少し歩くと、整備された登山道の真新しいテープがあり、テープを頼りに下って滝入口に向かう。林の中に響く滝の音を聞いていると足取りは自然と軽くなります。



会場では関係者の方々の協力でけんちゃん汁が大鍋で用意されていました。五、六時間も歩いたあとの熱々のけんちゃん汁は何よりのごちそうです。

神流町の皆様をはじめ、大勢の方々に支えられて無事に閉会することができました。ありがとうございました。

みじの葉を紅く染め、足元に差し込む光は柔かくてのんびりとした時間を感じます。ひっそりとした木立ちの中にお堂があります。古くからの信仰の場所なのでしょう。沢のせせらぎを聞きながら、もう少し頑張つて林道を歩くと三〇分程で柏木に着きました。人家の向こうに迎えるバスが見えた時はほっと安心しました。

怪我もなく山歩きを充分楽しみながら無事に下山できたことを感謝します。

## 中国〇4総体

## 新島学園高校準優勝

新島学園高校山岳部監督

黒澤 達行

平成十六年度全国高校総体「中国〇4総体」・第四十八回全国高校登山大会が島根県で開催され、男子団体に出場した新島学園高校が第二位に入賞しました。

## ◎大会日程

八月一日(日)リーダー・監督会議

二日(月)開会式

二日(月)～五日(木)登山行動

六日(金)閉会式

## ◎大会山域

三瓶山・琴引山・大万木山・毛

無山域

## ◎成績および選手

第二位(得点八九・七点)

選手 櫻井郁也(CL・天気)

吉井崇人(SL・読図)

松田智也(医療・食料)

清水瑛人(自然・装備)

## ◎大会を振り返って

今大会は、標高は千メートル程度とはいえ、ブナ林や火山などの豊かな自然に彩られた、魅力ある山域で行われました。また、映画『もののけ姫』の題材となった「たたら製鉄」のなごりが随所で見られるなど、歴史・環境教育的にもすばらしいフィールドでした。

全国総体では、県総体と同じく

登山に必要な知識・体力・技術などの総合力を四人一チームで競います。たとえば、天気図やテント

設置・装備・読図などが審査されます。自然や医療についてのペーパーテストもあります。体力や歩

行技術は減点方式で採点されます。そして、これらを加算した総合点

(二〇〇点満点)で順位がつけられます。国体の縦走競技とは異なり、速さを競う場面がまったく無いのが特徴です。

今回の好成績の要因は三つあると思います。

一つは、昨年の長崎インターハの経験を生かすことができたことです。特にザックの軽量化を心がけました。また、今年是要領もよくなり、デスクワークや体力トレーニングなど、多岐にわたる準備を能率よくこなすことができた。谷川岳等での強化合宿の他に、仕上げとして現地合宿も行いました。



です。今年の読図は例年と比べて難しく、ここで差がつかしました。入賞は読図が満点の学校にほぼ絞られました。

三つめは、メンバーの多くが新島学園中学校山岳部育ちということ。中三夏の蓼科山から編

笠山への縦走で自信を深め、登山のすばらしさを実感したようです。それらの活動を通じて、部員一人

一人が個性的で、お互いがその個性を認め合う自然な関係・チームワークが培われました。

現地での新聞取材には戸惑いましたが、全国大会ならではの楽しい思い出をつくることができました。

選手もひと回り大きくなったように思います。陰で支えてくださった役員さんをはじめ、応援に駆けつけてくれた先生方や保護者の皆さんに感謝する次第です。しかし、我がチームには新たな課題も見つかりました。他のチームに比べると、実力的にも人間的にも未熟です。この結果を励みにして、今後も安全に登山を楽しむための術を身につけながら、他の模範となるチームづくりをしていきたいと思っています。

## プレイバック『中国〇4総体』

新島学園高校三年 清水瑛人

去る八月に行われたインターハイでは、選手全員がこの大会後に引退をひかえた三年生であり、「長

かった部活動の集大成にしよう」と誓い合って臨んだ。

また、僅差で入賞を逃し、涙を飲んだ昨年の長崎インターハイのリベンジを果たすべく、選手一人

一人はこれまでにない程の気合いで現地に乗り込んだ。

かくして島根の地を踏んだ我々だったが、彼の地で待っていたのは、前回大会に続く台風の襲来だった。それも開会式前夜のことだった。

しかし、台風十三号はさしたる問題も無く過ぎ去って行き、大会中はついに天候が崩れることはなかった。むしろ山行に適した曇りを招き、炎天が予測された登山環境を多少なりとも楽なものにしてくれた。

さて、幸運ともいえる天候にも助けられ、我々は順調に日程を消化していった。しかし、選手に監督、地元の支援の方々を含めた三百人の群衆が隊列を組み、山中を黙々と登っていく様は、今になつて思うときだめし異様な光景であつたに違いない。

※ ※ 思いのほか速やかに競技の日程は過ぎ去り、気がつけばあつという間に閉会式へと至っていた。慌ただしくセレモニーが行われる中、おそらくは皆の心は目前のステージ上ではなく、ただ順位発表のこのみであったらうと思われ

れる。

結果発表の段を迎えると、会場はある種張りつめた静けさに包まれた。入賞校は、通例により下位から順に発表されていた。

六位、〇〇県、〇〇高等学校。県名が呼ばれるたびに、歓喜とため息が広がっていく。

五位――。また違う。続けて呼ばれていく中にも我が校の名前がない。まだ呼ばれないとすると、余程の上位か、あるいはまたしても入賞を逃したのか――。

続いて三位。二つの県が呼ばれた。そこにも我々の名前がない。「まただめか」。選手の間に希望は遂に消え失せ、諦念がますます強くなっていった。

そして、――第二位、群馬県、新島学園高等学校。――己が耳を一瞬疑い、直後にあつさりと状況を把握した。

「ついにやった!」と思うと同時に、だんだんと緊張が高まってくる。次はステージでの表彰式。大勢の前に立つことに不慣れな我々は、滑稽なほどぎこちない姿でそこに立っていたに違いない。正直言って、「どんなにバテても山の方がずっと居心地がよい」と思った。

※ ※

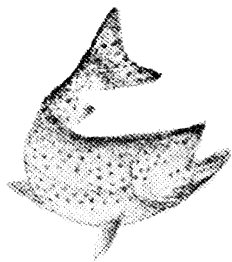
かくして我らの夏は終わった。八月初めの、ある暑い日のことだった。

味の店 ドライバーレストラン

# 一本松さかい

利根郡白沢村（国道120号線） TEL.0278-53-2053

## 片品川国際マス釣場



星 野 水 産

〒378-0013 沼田市新町230-1

TEL 0278-24-1398

味のりんご

## アンナプルナりんご園

沼田市上久屋町1231 TEL・FAX 0278-23-6802

**Annapurna**

高崎八幡霊園 墓石指定店  
 観音山聖地霊園  
 墓地取扱店



高

橋

石

井

高崎市石原町1497 TEL (027) 323-8867  
 工場・高崎市八幡町1245-67 TEL (027) 343-0270

携帯 090-8725-8456

電話、弱電工事

プモリ電設

〒379-2223

伊勢崎市小泉町252

☎ 0270-62-2012



(有) 山とスキーの店 石 井

**DreamBOX**

伊勢崎市宮子町1819-1

TEL 0270-21-8025

FAX 0270-21-8026

本店 (山の談話室 楼蘭)

伊勢崎市中央町18-8

TEL 0270-25-0272

平成17年度 社団法人 日本山岳協会

# 山岳共済会のお知らせ NEW!!

期間 平成17年4月1日～18年4月1日（中途加入できますが、会費、終期は同じ）

## 一般共済17年度の補償金額および会費

| 契約基本タイプ | 高校生    | A      | B      | C      | D       | E       |
|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 死亡・後遺障害 | 150万円  | 180万円  | 200万円  | 300万円  | 400万円   | 1,000万円 |
| 遭難捜索費用  | 100万円  | 200万円  | 200万円  | 250万円  | 350万円   | 500万円   |
| 個人賠償責任  |        |        | 1億円    | 1億円    | 1億円     | 1億円     |
| 会費      | ¥3,000 | ¥5,500 | ¥6,200 | ¥8,000 | ¥11,000 | ¥18,000 |

平成17年度より高体連所属山岳部員等を対象とした、高校生共済を追加いたします。  
上記各基本タイプに入通院のオプションを追加した場合の合計金額は下記のとおりです。

| 契約基本タイプ   | 高校生    | A      | B       | C       | D       | E       |
|-----------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 入院(1日につき) | 3,300円 | 3,300円 | 3,300円  | 3,300円  | 3,300円  | 3,300円  |
| 通院(1日につき) | 1,000円 | 1,000円 | 1,000円  | 1,000円  | 1,000円  | 1,000円  |
| 追加会費      | ¥4,000 | ¥4,000 | ¥4,000  | ¥4,000  | ¥4,000  | ¥4,000  |
| 合計金額      | ¥7,000 | ¥9,500 | ¥10,200 | ¥12,000 | ¥15,000 | ¥22,000 |

## 特別共済17年度の補償金額及び会費

| 契約基本タイプ   | I 型    | II 型   |
|-----------|--------|--------|
| 死亡・後遺障害   | 300万円  | 300万円  |
| 捜索救助費用    | 300万円  | 300万円  |
| 個人賠償責任    | 1億円    | 1億円    |
| 入院(1日につき) | 2,000円 | 4,000円 |
| 通院(1日につき) |        | 1,700円 |
| 会費        | ¥3,000 | ¥6,000 |

## 海外山岳共済の補償金額及び追加会費

一般共済、特別共済共通です。

| 契約基本タイプ |         |
|---------|---------|
| 死亡・後遺障害 | 100万円   |
| 救援者費用   | 500万円   |
| 個人賠償責任  | 1億円     |
| 追加会費    | ¥10,000 |

## 死亡見舞金

山岳登はん中に疾病を要因とする死亡事故発生の場合、山岳共済会より会員の家族の方へ死亡見舞金(10万円)を支給します。(一般共済、特別共済共通です)

お問い合わせ先

(社)日本山岳協会山岳共済事務センター

月～金 10:00～17:00(土・日・祭日を除く)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-7-11-707

電話 03-5958-3396 FAX 03-5958-3397 Eメールアドレス sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp



## 萬屋建設グループ

歴史、信用、技術をもって、21世紀の人間と環境を考える。



## 総合建設業 萬屋建設株式会社

会 長 星 野 光

■本社 群馬県沼田市上原町1756-2 TEL 0278-23-4648(代) FAX 0278-24-3371  
■支店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-3985-7631 FAX 03-3982-5964

群馬県公安委員会指定（公認）

## 株式会社 沼田自動車教習所

群馬県沼田市横塚町1088-13 TEL 0278-24-4811 FAX 0278-23-7960

## 昭和シェル石油特約店 有限会社 丸萬石油

群馬県沼田市上原町1756  
TEL 0278-23-0018 ☎ 0120-41-0018

## 日本工業規格表示許可工場 建設生コン株式会社

本 社 沼田市上久屋2338-1 TEL 0278-24-3111  
大楊工場 利根郡利根村大字大楊187 TEL 0278-56-3682

## 総合建設業 株式会社 鈴木工業所

群馬県沼田市上久屋1162-5  
TEL 0278-22-2846 FAX 0278-23-6233

## マンション 萬栄ビル株式会社

東京都豊島区東池袋4-2-7  
TEL 03-3971-3433 FAX 03-3982-5964